

聖霊降臨節第25週 主日礼拝

2020年11月15日

第一礼拝(午前8:30~) 第二礼拝(午前10:30~) CS・第三礼拝(午後1:00~)

前奏	(新聖歌302)		
招きのことば	『詩篇』127篇3-5節	司会者	
開会の賛美	新聖歌7「主のみいつと」	—	同
信仰告白	『使徒信条』(スクリーン参照)	—	同
代表祈禱	司会者	
聖書朗読	『ヨハネの福音書』6章1-13節(新約p.187)	司会者	
黙想	(3分間の換気を行います)		
説教	「イエスにまねぶ」	近伸之牧師	
感謝の献金	新聖歌266「罪咎を赦され」	—	同
諸報告	司会者	
※頌栄の賛美	新聖歌60「天地こそりて」	—	同
※祝福の祈り	近伸之牧師	
※後奏			

(※印は、からだの不自由な方以外はご起立をお願いします)
(本日の第三礼拝では、子ども祝福式も組み入れます)

第一礼拝	司会：近伸之牧師 集會：山岸あけみ姉	奏楽：近ゆかり姉	献金カゴ：沼田佐代子姉
第二礼拝	司会：山崎敬典兄 集會：長谷川睦子姉	音響：小林洋子姉	録画：近伸之牧師 献金カゴ：渡邊智子姉
教会学校	担当：近伸之牧師	聖書箇所 創39~41章	暗唱聖句 詩37:39
第三礼拝	司会：近伸之牧師	音響：片山浩司兄	献金カゴ：猪爪和美姉

説教メモ

- 「学ぶ」は「まねぶ」。聖書が命じる生き方は、イエスの言葉、行動からすべて学ぶ(まねぶ)ことができる。
①問題から逃避する。②資金を集める。③善意の協力者を募る。これらのどれでもなく、④賛美と感謝をもって、父なる神に祈る。それがイエスが模範として示してくださった、神のみこころにかなった方法である。
- しかし、捨てる(壊す、失う)覚悟のない祈りには力がない。無から有を生み出すことができるイエスは、弟子と群衆に対する実物教育として、パンと魚を裂き、手渡した。何も失わずに神の奇跡を経験することはできない。しかし失う者は与えられ、献げる者は報いを得る。「一切れも無駄にするな」という命令は、後で食べるためではなく、その切れ端一つひとつに、神の国の勝利の法則が刻み込まれているからに他ならない。

今週の暗唱聖句

「そうして、イエスはパンを取り、感謝の祈りをささげてから、座っている人たちに分け与えられた。魚も同じようにして、彼らが望むだけ与えられた」
(『ヨハネの福音書』6章11節)

個人、団体からの来信 [11/11(水)~11/17(火)]

2020年11月15日

教団伝道部より、国内開拓教会からの感謝状/新潟福音放送協力会より会計報告/松原湖からのお知らせ/北海道聖書学院より「学院通信」第90号/教団・社会局長経由「中国系カルト教団[全能神]警戒情報」

先週の集會出席者数

11/8(日)	教会学校	幼児男子1 小学男子- 中学男子- 高校男子- 男児計1 成人男性1 幼児女子1 小学女子2 中学女子1 高校女子- 女児計4 成人女性-
	第一礼拝	男4 女6 11/9(月) 書道教室 男2 女5(求1) 心和さんも参加
	第二礼拝	男4 女9 11/9(月) 月曜家庭集會 男2 女3
	第三礼拝	男5 女7 11/11(水) 新潟山形僚禱會 9.5人 子ども 男児- 女児2 11/13(金) シャベリ場タビタ ※10月の合計平均数 4人
※三部制にして、夕拝は休會		11/13(金) 金曜祈禱會

諸集會のご案内

	※月に一回、書道教室を開催。		
月曜家庭集會	11/16(月)	(休會)	
救禱會	11/18(水)午後7:30	※救禱リストを使います。	司会：近伸之牧師
シャベリ場タビタ	11/20(金)午後1:30	小山千春姉宅	問合先：渡邊智子姉
金曜祈禱會	11/20(金)夜	教会堂	

11/22(日) 聖霊降臨節第26週

第一礼拝 午前8:30~	司会：片山勝三兄 集會：山岸あけみ姉	音響：諸橋英樹兄 奏楽：近ゆかり姉	献金カゴ：沼田佐代子姉
第二礼拝 午前10:30~	司会：近伸之牧師 集會：渡邊智子姉	音響：山崎敬典兄	録画：近伸之牧師 献金カゴ：小林洋子姉
教会学校 午後1:00~	担当：片山初子姉	聖書 創世42~45章 暗唱聖句 詩篇50:20	
第三礼拝 午後2:00~	司会：片山浩司兄	音響：片山初子姉	献金カゴ：猪爪和美姉
教会学校奉仕	11/1[近牧師] 11/8[片山姉] 11/15[近牧師] 11/22[片山姉] 11/29[近牧師]		
ゴミ・掃除当番	1週目[佐藤姉] 2週目[小林姉] 3週目[長谷川姉] 4週目[横堀姉] 5週目[初子姉]		
主日の予定	聖歌：8, 275, 61 ※オンラインによる宣教区會議 午後4:30~(当教会も分散会場となります)		

報告


- 本日の予定
主日礼拝の恵みを感謝します。それぞれが受けたみことばを心に刻みつけ新たな一週間を歩みましょう。第三礼拝の後、午後4:00から定例役員会を行います。役員各位の霊性と体調が支えられ、議事が守られるようにお祈りください。
- 個人消息
横山洋平兄は先月をもって新潟グレイスチャペル(新発田いのちのパンチャーチ)へ転会されました。また、今月初旬にお祖母さまのミサオさんが天に召されました。兄弟の歩みとご遺族の慰めを祈りましょう。
-

1その後、イエスはガリラヤの湖、すなわち、ティベリアの湖の向こう岸に行かれた。2大勢の群衆がイエスについて行った。イエスが病人たちになさっていたしるしを見たからであった。3イエスは山に登り、弟子たちとともにそこに座られた。4ユダヤ人の祭りである過越が近づいていた。5イエスは目を上げて、大勢の群衆がご自分の方に来るのを見て、ピリポに言われた。「どこからパンを買って来て、この人たちに食べさせようか。」6イエスがこう言われたのは、ピリポを試すためであり、ご自分が何をしようとしているのかを、知っておられた。7ピリポはイエスに答えた。「一人ひとりが少しずつ取るにしても、二百デナリのパンでは足りません。」8弟子の一人、シモン・ペテロの兄弟アンデレがイエスに言った。9「ここに、大麦のパン五つと、魚二匹を持っている少年がいます。でも、こんなに大勢の人々では、それが何になるでしょう。」10イエスは言われた。「人々を座らせなさい。」その場所には草がたくさんあったので、男たちは座った。その数はおよそ五千人であった。11そして、イエスはパンを取り、感謝の祈りをささげてから、座っている人たちに分け与えられた。魚も同じようにして、彼らが望むだけ与えられた。12彼らが十分食べたとき、イエスは弟子たちに言われた。「一つも無駄にならないように、余ったパン切れを集めなさい。」13そこで彼らが集めると、大麦のパン五つを食べて余ったパン切れで、十二のかごがいっぱいになった。

一九七七年十一月十五日、新潟市の横田めぐみさんが下校中に失踪。必死の捜索も空しく、20年間行方不明のままだった。しかし一九九七年、北朝鮮に拉致されていたことが判明。その5年後の二〇〇二年、北朝鮮は13人の拉致を認め、うち彼女を含む8人はすでに死亡と発表された。しかし返還されためぐみさんの遺骨の一部からは別人のDNAが検出された。拉致の日から今日で43年……、家族の闘いは今も続いている。



△拉致問題対策本部が作成した啓発ポスター(部分)より

 ライフ・ライン 毎週土曜日 朝5:15~5:45 BSNテレビにて放送中
★24時間テレホン『でんわ世の光』025(272)3592

11/21(土)ライフ・ラインのつどい「守られて生きる」関根弘興牧師



Broadcast for Expanding Gospel into Niigata BEGiN. ここから始まるあなたの伝道。

無観客「ライフ・ラインのつどい」の5回目。今回の「つどい」では、福音歌手の森祐理さんが賛美歌を歌い、関根弘興牧師が「守られて生きる」というタイトルで聖書のメッセージを語りました。そんな「つどい」の様子を紹介します。

豊栄キリスト教会は、ライフ・ラインを祈りと献金で支援しています。

2020年度教会目標 「主にとどまり、みことばがとどまる群」

「あなたがたがわたしにとどまり、わたしのことばがあなたがたにとどまるなら、何でもあなたがたのほしいものを求めなさい。そうすれば、あなたがたのためにそれがかなえられます」(ヨハネ15:7)

日本同盟基督教団 新潟山形宣教区
豊栄キリスト教会 (牧師 近 伸之)

〒950-3322 新潟県新潟市北区嘉山3-11-15
TEL: 025-387-4934 FAX: 025-250-0155
ホームページ: <http://toyosakakyokai.net>
電子メール: info@toyosakakyokai.net
ブログ: <http://toyosakakyokai.sblo.jp>

